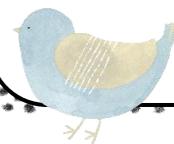


つみきのくらし

NO. 22

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥 佳織



やってみよう会

あっという間に秋が終わり、冬を間近に感じる寒さが続いています。寒暖差が激しいこの時期は、体調を崩しやすくなりますので、こどもも大人も体調管理に気を付けていきましょう。

さて、9月に行いました『うんと動く会』にご参加いただきましてありがとうございました。また、『つみきのくらしをのぞいてみませんか?』『クラス懇談会』『前期アンケート』では、『うんと動く会』についてのたくさんの貴重な思いやご意見をいただきまして、ありがとうございました。

私たち保育者にとっても『うんと動く会』は、はじめの一歩であり、たくさんの反省と成果を生むことになりました。

今後に向けては、保護者の方からいただいた『思いや意見』また保育者からでた『反省、思いや意見』を考慮し、子ども達にとってより良いものとなるようにしていきます。

そして、『うんと動く会』同様【子どもが主体となり、やってみたいこと、得意なことを思いきり楽しむ】という意図をもった行事として、『やってみよう会』と改名しました。(サブタイトル有)

内容については、子ども達の現在の好きなことや興味関心、やりたいことをもとに、子どもと保育者と一緒に考えています。

『やりたいこと、大好きなことをみんなで楽しむ過程(当日までの日々)を大切にしながら当日を迎え、楽しむ』『子ども達の大好きなこと楽しいこと、色々な角度からの成長をやってみよう会を通して、保護者の方たちに知ってもらおう』という1日になって欲しいです。

【結果】 < 【過程】 の大切さ

先日、梅原さんから【秘伝】という名の枝豆をたくさんいただきました。園庭のテラスに腰掛け、ぽかぽか陽気の中、枝豆を枝から外す作業を、のんびり会話を楽しみながら行いました。



↑枝豆を茹でている時の匂いは、期待感を更に高めていきます。
↓茹で上がると瞬時に人が大勢集まります!

無心になって食す!

午前中で茹でできなかった分は、おやつでいただきました!

【食】は、生きていくために必要なことです。そこには、好き・苦手・食べられる量、日によっては、気分・体調等の個々の状態が関わってきます。これは、子どもも大人も全く同じです。こういうことを、配慮しながら私たちは子どもと共に【食】と向き合っています。

今回、枝豆をいただいて、自分たちで、枝から外す・茹でる・自分のコンディションで食べるということをしました。出来上がった状態(結果)からではなく、出来上がる過程を通して『食べたい』『食べてみよう』という気持ちが高まって食べることができました。このような体験や、遊び、行事等にも過程があります。子ども達にとっての成長や学びの糧となるよう、これからも過程を大切にしていきます。

